

平成25年度 第7回
製品安全対策優良企業表彰



受賞企業紹介



2013 製品安全対策優良企業

経済産業省では、製品安全対策優良企業を表彰しています。

経済産業省では、製品安全に積極的に取り組んでいる企業を企業単位で公募し、厳正な審査の上、該当企業には、「製品安全対策優良企業」として表彰を行っています。表彰を通じて、製品安全に対する意識の向上と製品安全文化の定着を図り、持続的に製品安全が確保されるような安全・安心な社会を作ることを目的としています。

■製品安全対策優良企業表彰事務局 Tel:03-5288-6583

ご挨拶

この表彰制度も、本年度で7回目を迎えました。地道に継続してきて、企業の間では定着しつつあり、また、審査を通じて企業の取組や意識・姿勢も変わってきたように感じます。

大手のメーカーでは、リスクアセスメントの視点で、設計段階からリスクの低減に取り組み、事故の未然防止に重点を移す傾向が見受けられます。大手の量販店では、自社の仕入基準や仕入先との契約の中に製品安全の項目を定めて、安全な製品しか仕入れない姿勢を明確に示す企業が増えてきました。中小の事業者については、ここ数年での変化というよりも、足繁くお客様のところに通い、意見・希望を聞いて、製品を使いやすく・わかりやすくする、といった古来の「おもてなし」文化に通じる取組が印象に残っています。

私は、安全学なる学問に携わっていますが、安全学の観点から、今は「安全は、みんなで作る時代だ」といっています。企業は上記のような取組を実直に行う、消費者は製品を正しく使用する、行政は法律や制度を作って監視や指導を行う、というそれぞれの役割や責任を自覚し、三者が協力してはじめて安全が確保される、という意味です。

頑張っている企業を国が褒めて公表するという本表彰制度は、企業・消費者・行政がそれぞれの役割や責任を認識して協力しあう社会の実現に向けて有効な仕組みだと考えます。本表彰制度がさらに社会に普及し、発展していくことを願っています。

製品安全対策優良企業表彰 審査委員会委員長 向殿 政男
(明治大学 名誉教授)

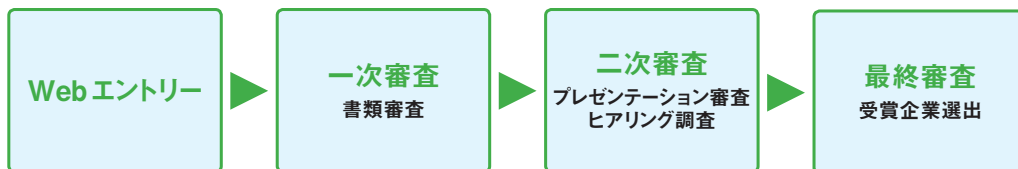
製品安全対策優良企業表彰の審査概要

本年度の審査は、書類審査、プレゼンテーション審査、ヒアリング調査で構成しました。審査にあたっては「安全な製品を製造（仕入れ・販売）するための取組」「製品を安全に使用してもらうための取組」「出荷後に安全上の問題が判明した際の取組（事故やリコール等が起きた際の取組）」「製品安全文化構築への取組」の4つの視点から評価を行いました。

一次審査では、申請用紙（「製品安全活動記述シート」）による書類審査を行い、企業の製品安全に関する取組について評価しました。応募企業の業種は、農具、日用品、家具、福祉用具、衣料品など多岐にわたりました。

二次審査では、一次審査を通過した企業を対象として、プレゼンテーション審査を行いました。プレゼンテーション審査では、各社が特にアピールしたい製品安全に関する取組を紹介していただきました。また、プレゼンテーション審査で紹介していただいた取組内容を確認するため、審査委員が各社を訪問し、ヒアリングを実施しました。

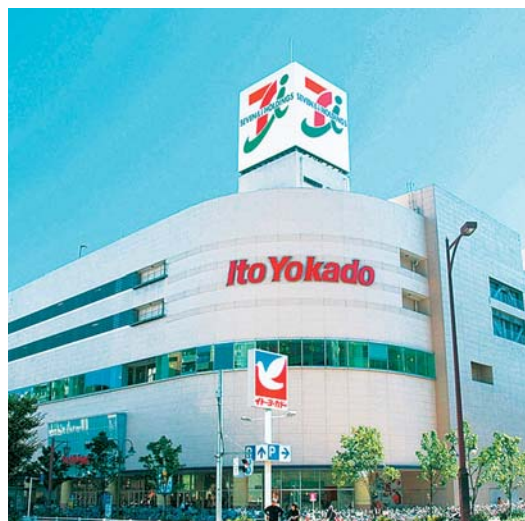
最終審査では、プレゼンテーション審査とヒアリング調査の結果を基に協議を行い、最終的に受賞企業7社を選出するに至りました。



特別賞の新設と審査概要

本年度より、製品安全の分野に関する活動を通じて、社会の製品安全文化の定着に寄与している組織（企業または団体）を対象とした『特別賞』を新たに設立しました。

一次審査（書類審査）と二次審査（ヒアリング調査）の結果を基に審査委員会において協議を行い、最終的に4つの企業・団体を選出するに至りました。



経済産業大臣賞

大企業 小売販売事業者部門

株式会社イトーヨーカ堂

<http://www.itoyokado.co.jp/>



- 事業内容：総合スーパー（衣料品・住居品・食品の小売販売）
- 所在地：東京都千代田区 ■設立：1920年
- 代表者：代表取締役社長 / 最高執行責任者 亀井 淳
- 従業員数：37,014名[2013年2月現在]

受賞企業コメント

イトーヨーカドーは創業以来、一貫して「信頼される誠実な企業」を社是として掲げてまいりました。「お客様の立場に立った流通サービスの創造」を目指し、お客様の信頼と期待にお応えする質の高い商品・サービスのご提供に全力を注いでいます。そのために、売場でのお客様とのコミュニケーションを通じ、お客様の「いまの声」を積極的に取り入れ、新たな取組に結びつけています。お客様にご提供する商品は「安全・安心」であることが何よりも優先されなければなりません。お客様に満足いただける「価値・品質」を実現するために、商品の原材料調達から販売にいたるサプライチェーン全体にこだわった品揃えが最大の責務と考えております。製品安全にはすべてのお取引先のご協力無くしてはできません。この度の賞の重さを各お取引先と共有し、お客様に「安全」「安心」してご使用いただける商品のご提供に向け、社員一同、さらなる努力を続けてまいります。

受賞ポイント

1 第三者認証機関を活用した工場監査の強化

プライベートブランド製品の製造委託先工場などの監査の精度を高めるため、持ち株会社と連携し、外部の第三者認証機関と業務委託契約を行って、特にCSRの視点を加えた監査を実施している。



《工場監査の様子》

2 製品安全を機軸とした自社独自の品質基準の策定およびグループ会社、取引先との共有

製品の安全性がすべてに優先されることを方針として掲げ、グループ会社で品質基準を適用するとともに、取引先、メーカーに対しても品質基準を配布し、製品安全の概念や具体的な取組手法の共有を図っている。

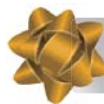
3 取引先が行うリコールへの迅速な協力体制を整備

取引先が行うリコールに際し、各店舗の店長への連絡およびお客様対応手順、店頭告知用のPOPなどを迅速に配信する仕組みを構築するなど、リコール製品を混乱なく迅速に回収できる体制を整備している。

担当者のことば

一昨年の「平成23年度 第5回製品安全対策優良企業表彰」において経済産業大臣賞を拝受した際、審査員の先生方に製品安全対策について新たな課題をご提示いただき、製品安全に関わる基本的な項目を一つ一つ見直しをいたしました。その間、先進の取組をされ、同賞を受賞された各企業やお取引先の関係部門、さらには専門機関の方々とも情報交換を重ね、改めてお客様の視点から様々な製品安全に関わる改革・改善を進めてきました。製品安全手法に確立されたマニュアルはありませんが、唯一の指標はご購入いただいた製品を、お客様が「安全」にご使用いただく対策を積み上げ、結果として「安心」が生まれることと認識しております。今回いただいた栄えある賞を励みに、これからも新たな製品安全に向けた対応を推進してまいります。





商務流通保安審議官賞

大企業 小売販売事業者部門

株式会社ニトリホールディングス

<http://www.nitori.co.jp/>

お、ねだん以上。



■事業内容：家具・インテリア用品の販売チェーン、トータルコーディネート販売、海外製造開発輸入推進

■所在地：東京都北区(本部)

■設立：1972年 ■代表者：代表取締役社長 似鳥 昭雄

■従業員数：20,829名[2013年9月現在]



受賞企業コメント

ニトリは創業以来「欧米並みの住まいの豊かさを、世界の人々に提供する」というロマンの実現を目指してまいりました。そのためには、製造・物流・小売、そしてアフターサービスまでの一貫した取組が必要であるという考えのもと「製造物流小売業」という新しいビジネスモデルをつくりあげてきました。生産後の製品を検査するだけでなく、試作品を検証し、材料・原料の段階から工程をチェック、さらには既存の規格に対応するのみにとどまらず、より厳しい独自の品質基準を設けて製品開発を行っています。2013年からはトレーサビリティシステムもスタートさせ、グローバル化に向けた生産出荷国での品質保証体制の構築を進めております。今後も今回の賞を励みに、より安全な商品をお客様へお届けするよう全社一丸となり努力してまいります。

受賞ポイント

1

垂直統合型の製品安全保証体系の構築

製品の開発段階では、他社のリコール情報を反映した故障解析や、自社テスト設備を駆使した破壊試験などを実施し、また、生産段階では、取引先工場などの現場指導を行うなど、開発から販売まで垂直統合型の製品安全保証体系を構築している。



《自社テスト設備での試験・分析の様子》

2

製品の経年劣化による事故を予防する安全情報の配信

製品の経年劣化による事故・トラブルを予防するため、製品の購入者に対してメンテナンス情報をダイレクトメールで配信するなど、安全情報を適時適切に発信している。

3

製品の製造履歴と販売履歴を紐付けたトレーサビリティシステムの構築

有事の際の対応に備えるため、部品・材料・製造ロットなどの製造履歴情報と、会員カードによるお客様の購買履歴情報を紐付けるシステムを構築し、製造段階から使用段階までのトレーサビリティを確保している。

担当者のことば



今回の受賞は2011年に続き2度目となる「商務流通保安審議官賞」受賞になります。その総評として「企画・開発・製造を含めた総合的な取組レベルは非常に高い水準にある」と評価をいただいた反面、活動内容の対外的なアピールが不足しているとのこと指摘もいただきました。今後は情報の外部発信を企業として進めていき、グローバル化に合わせた新しい取組を付加させて、次の新たな挑戦に取り組んでいきたいと思っております。この受賞はゴールではなく、次へのスタートと位置付けています。企業ブランドの構築は息の長い活動ではありますが、今回の受賞を励みに全社をあげて、製品安全に取り組んでまいります。



経済産業大臣賞

中小企業 製造事業者・輸入事業者部門

株式会社相田合同工場

<http://www.kuwaya.com/>



- 事業内容：農具、鋤類、鍛造諸刃物の製造および販売
- 所在地：新潟県三条市 ■設立：1930年
- 代表者：代表取締役社長 相田 聡
- 従業員数：15名[2013年9月末現在]

受賞企業コメント

弊社の経営理念において「職人の技で里山の暮らしを未来につなげる」と掲げ、暮らしの様々なシーンに道具が活用され、豊かな社会づくりに寄与することを目標としています。しかしながら、現代の日本では、暮らしに利便性や快適性を追求し、人は道具を使わなくなり、道具を使う楽しさを知らない人が大半を占めるようになりました。同時に、「ものを大切にする心」も失われつつあります。製品安全対策を通じて得た気づきの一つが、私たち製造者が使用者に「ものを大切にする心」を伝えてきたかということでした。具体的には、①そのものの適正な使用方法を知る(知らせる)、②してはいけないことを知る(知らせる)、③きちんと手入れや点検をする(方法を知らせる)、④寿命が来たら正しく捨てる(寿命を知らせる)。今後もさらなる製品安全対策に取り組み、これらの情報を使用者と共有していくことが、製品事故を軽減し豊かな社会づくりにつながっていくものと確信しています。

受賞ポイント

1 製品の使用者とのリスクコミュニケーションを通じて製品に内在するリスクを洗い出し、安全な製品の開発に活用

鋤(くわ)のワークショップや修理相談会などの開催を通じて収集した使用者からの製品トラブル情報や苦情、使用実態などを踏まえ、製品に内在するリスクを洗い出し、製品の企画・設計・開発段階でのリスクの低減に活用している。



《鋤のワークショップの様子》

2 リコールなどの市場対応に備えた購入者情報の収集や、経年劣化による事故を防止するための点検・修理などを実施

リコールなどの市場対応に備え、販売経路を特定し、購入者の連絡先などの情報を収集している。また、経年劣化による事故を予防するため、購入者に案内状を送付し、点検・修理、注意喚起などを促している。

3 他業種を含めた製品安全文化の構築

日本鍛冶学会やワークショップでの講演などを通じて、農具の枠を超え、鋤類、鍛造諸刃物などにおける製品安全の重要性を伝え、「製品安全文化」の構築に挑んでいる。

担当者のことば

私たちは農具の製造事業者です。今までに製品起因が疑われる製品事故は起きておりません。しかし、販売ルートの変化により、作業に適さない道具の購入、使い方に起因すると思われるクレームが増え、解決策として、製品安全対策活動を行ってきました。この賞の応募をきっかけに、表示の改善、取扱説明書の添付に取り組み、ワークショップ等を通じた消費者との交流を行いました。これらを通じ、生活様式の変化を起因とし、道具を使う機会、選び方や使い方を学ぶ機会が失われつつある現状に気づきました。そして、製品安全文化の構築とは、日本人が伝えてきた道具を使う文化の再構築と認識しました。これからも、私たちが製造している道具を使う文化を伝え、製品安全文化の構築、定着に全力で取り組んでまいります。





商務流通保安審議官賞

中小企業 製造事業者・輸入事業者部門

株式会社シナノ

<http://www.sinano.co.jp/>



- 事業内容：スキーポール、トレッキングポール、ウォーキングポール、歩行杖の製造・販売
- 所在地：長野県佐久市 ■設立：1946年
- 代表者：代表取締役社長 柳澤 光宏 ■従業員数：39名[2013年9月末現在]



受賞企業コメント

SINANOは創業以来、「支える技術」を磨いてきました。スキーポール、トレッキングポール、歩行杖、ウォーキングポールなど、すべての製品を安心・安全に使っていただく取組は、製品開発段階より地道な積み上げをしてまいりました。今回受賞できたことは、今後の製品安全対策の取組へのさらなる励みとなり大変光栄に感じています。製品安全に関わる部分については、自社独自の設計基準や試験規格をつくり徹底した検証試験を行うことが、品質の裏付けとなっておりシナノブランドの変わることのない原点です。今後はさらに製品安全文化構築のため、製品の普及活動と同時に製品の正しい選び方・安全な使い方をネットや講習会等を通じて啓蒙を図り、ユーザーの方に選んでいただける安全な製品を開発していきたいと考えております。

受賞ポイント

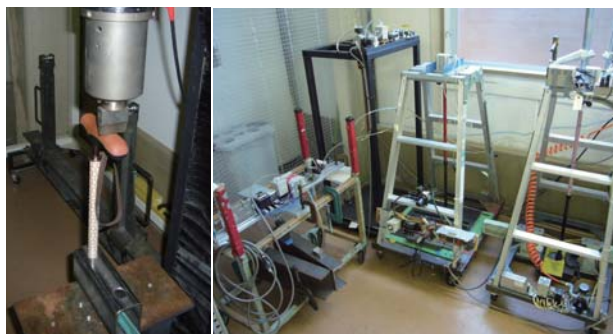
1

社外専任モニターを活用した製品開発および試験基準の策定

社外専任モニターのテスト結果からリスクの洗い出しを行い、より安全な製品開発を行っている。また、安全確保のために特に重要な項目は、耐久性や破壊強度などの試験基準を独自に策定して試験を実施している。



《モニターテストの実施》



《破壊強度・耐久性試験の実施》

2

リコールなどの実効性を高めるための取組

製品の生産・出荷に関する履歴情報を10年分管理し、リコールなどの際に迅速に対応できる体制を整備している。また、苦情などはすべて発生原因ごとに再現テストを実施し、その原因を究明してお客様に報告している。

3

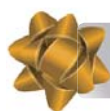
Walking Lifeを支えるための取組の一環として、製品を安全に使用してもらうための情報を発信

自社ホームページや動画サイト、全国で開催されているイベント・研修会などの様々な媒体を通じて、製品の選び方・使用方法・メンテナンス方法など、製品を安全に使用してもらうための情報を積極的に発信している。

担当者のことば



私どもの製品安全対策活動をご評価いただき大変光栄に感じています。この応募の資料をいただいた時は、企業として当然やっていることと自社独自の製品安全対策の取組をどのようにアピールしたらよいか、また他の企業はどのような製品安全対策の取組をしているのか戸惑いと興味は半々でした。今回の審査結果では、審査委員の皆様より社内では気が付かないシナノの良い点と改善すべき事項について評価とアドバイスをいただきました。今後につきましてはアドバイスをもとに、より一層製品安全活動への取組を進展させ続けてまいります。



商務流通保安審議官賞

中小企業 製造事業者・輸入事業者部門

株式会社タバタ

<http://tabata.jp/>



■事業内容：ダイビング用品、スノーケリング用品、スイミング用品、ゴルフ用品等の製造および販売

■所在地：東京都墨田区 ■設立：1952年

■代表者：代表取締役社長 武田 修一 ■従業員数：343名[2013年3月末現在]

受賞企業コメント

当社は1952年にゴム製品の製造・販売会社としてスタートした後、国産初のスクーバダイビング用マスクを開発し、スポーツ用品メーカーとして歩んできました。水中スポーツ用品は機能や使用される環境などから厳しい安全対策が要求されます。特にスクーバ製品は、水中で呼吸したり浮力を調整する機能を備えており、一歩間違えると即人命に影響を与えます。そのため「お客様の安全第一」を基本理念としています。この基本理念を実現するため、安全な製品を作るだけでなく、ダイビングポイントにて製品を実際に使用していただく「モニター会」を開催し、「製品を安全に使用してもらう」ための活動も実施しています。モニター会では、器材の点検方法や使用方法などを当社のスタッフが直接指導する機会を設けており、ユーザーとの貴重な情報交換の場ともなっています。今回の受賞を励みとし、今後もさらに「製品の安全向上」に取り組んでまいります。

受賞ポイント

1

社内外のフィールドテスト結果などを活用した評価基準の策定および製品開発を実施

社内外のモニターによるフィールドテストや製品のメンテナンスの機会を積極的に設け、そこで得られたユーザーの声を基に、製品品質評価基準を策定し、より安全な製品の開発につなげている。

お客様安全第一主義の基準作り

JIS規格
JIS S 7301 など

EN規格
EN 250 など

ST基準

顧客基準
A社標準など

不具合事例

+

ユーザー要望（社外協力者によるフィールドテストなど）



スイミング選手

これらを基に、
製品カテゴリー別
に基準を作成。



オフィシャルダイバー



スイミングゴーグル

- レンズの耐衝撃性
- ストラップ耐久
- バックル強度
- など



BCジャケット

- 溶着強度
- 浮力測定
- 面ファスナー強度
- など

2

人命または人体に直接影響を与えるおそれのある製品の品質基準を厳格化し管理を徹底

製品の不具合によって人命または人体に直接影響を与えるおそれのある製品（レギュレーター、BCジャケットなど）の品質基準を厳格化し、リスクレベルに応じた管理を社員に徹底している。

3

製品の安全情報をわかりやすく提供

製品を安全に使用してもらうため、製品の選び方やメンテナンス方法などの情報や、トラブル発生時の対処方法などを自社ホームページなどにおいて写真や動画を使ってわかりやすく説明している。

担当者のことば

応募にあたり、過去の受賞企業の取組内容や受賞ポイントをHPで拝見した時には、「当社の活動が十分であるか」との不安がありました。しかし、スイミングゴーグルおよびダイビング器材メーカーとして国内初のISO9001認証を1996年に取得し、現在も認証継続している中、「製品安全に対する取組を客観的に評価していただき、どのレベルにあるかを知る良い機会」と捉え応募いたしました。準備やプレゼンは大変でしたが、審査を通じて審査委員の皆様から様々なご意見をいただいたことは大変有益であり、「安全」に対する新たな課題を発見することもできました。今後もお客様が安心して楽しむことができる商品およびサービスを提供することができるよう社員一同で活動の強化を図ってまいります。





経済産業大臣賞

中小企業 小売販売事業者部門

有限会社ナルデン

<http://www.naruden.com/>



■事業内容：家庭用電化製品販売・修理・設置、オール電化、太陽光発電、リフォーム全般、介護用品・福祉用具の販売・レンタル

■所在地：和歌山県和歌山市 ■設立：1971年

■代表者：代表取締役社長 成瀬 静夫 ■従業員数：6名[2013年9月現在]



受賞企業コメント

弊社はもともと街の電器屋「ナルデン商会」として約40年前に誕生しました。現在、家電販売はもちろん太陽光発電・オール電化・リフォーム全般や、県指定福祉用具貸与事業所として介護用品や福祉用具のレンタル・販売および住宅改修等を取り扱っています。そのすべての部門において家電製品と同様に“お客様の使用目的や使用場所・使用環境に合った製品やサービスをお客様目線でお選びしお勧めしお届けする”つまり『街の電器屋さん品質』でお届けすることに重点を置いています。今回、特に介護部門および太陽光発電部門においての『街の電器屋さん品質』での製品やサービスの提供を大変高く評価をしていただき、2010年度の本表彰での商務流通審議官賞に続いて経済産業大臣賞を受賞することができました。2度の受賞を励みとし、また製品安全対策優良企業として誇りを持ち、より一層地域に密着し、顧客に密着した企業として頑張っている所存でございます。

受賞ポイント

1 地域の高齢者向けに安全な家電製品や福祉用具を提案

メーカーが製品を企画する段階からアドバイザーとして参加し、高齢者や介護者などユーザーの視点を踏まえた意見や要望をメーカーに伝えることで、メーカーの安全な製品開発の実現に寄与している。



《介護用品・福祉用具の販売店内の様子》



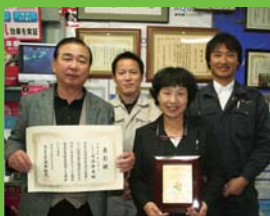
2 使用者の視点に立った意見や要望をメーカーに伝えることでメーカーの製品開発に協力

「街の電器屋さん」として培ったノウハウやサービスを福祉用具の販売にも応用し、お客様の住宅構造や使用状況、要望などを踏まえ、お客様に適した安全な家電製品や福祉用具の提案を行っている。

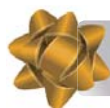
3 同業者に対して自社の取組や考え方を発信し情報を共有

中小家電販売店の会合などで、地域密着型店舗ならではの強みや、お客様の安全確保を軸とした事業の拡大や展開の可能性について、自社の取組や考え方などを発信し、同業者との情報共有に努めている。

担当者のことば



前回(2010年)の受賞後、製品安全セミナーにて講演をさせていただいたり、家電および介護用品の製造メーカーからお客様目線での意見やアドバイスを求められたりなど、製品安全対策優良企業としての責任を感じる機会が多々ありました。製品安全についてお客様や同業者に対して直接顔を見て話し伝え広めることこそ製品安全対策優良企業としての弊社の役割であり、そういった活動が微力ながらも製品安全文化のレベル向上につながると信じ、新たな活動に取り組んでまいりました。その新たな取組を評価していただくために今回再応募を決意しましたが、結果的に前回よりもさらに大きな賞をいただき本当に嬉しく思います。この受賞に恥じるこののないよう、製品安全対策文化のより一層のレベル向上に貢献してまいりたいと思います。



商務流通保安審議官賞

中小企業 小売販売事業者部門

株式会社ダイワ

<http://www.kakasisan.jp/>



- 事業内容：各地域のJA(農協)を通じた通信販売
- 所在地：大阪府堺市
- 設立：1968年 ■代表者：代表取締役会長 松波 皓介
- 従業員数：101名[2013年3月現在]

受賞企業コメント

弊社は、全国各地の農協(JA)を介して通信販売を行っております。お客様は、高齢者が中心で、「良い品」を「安心」して「長く」使うことを望む方が多くおられます。また、メディアで品質に関する事故が報じられるたびに、より高品質で、より安全な商品を求められるようになったと実感しております。弊社は、これらのお客様の要望に応えるため、長い年月をかけて、いくつかの取組を行ってまいりました。本制度の応募によって、社内の「安全に対する意識」を高めることができたと感じています。また、独自の安全と安心への取組を「自己満足」から「客観的な評価による自信」に変えることができた喜んでおります。そして、審査の過程で「新たな課題」を見つけることができたことは、これからの励みとなりました。これからも、お客様目線で製品の安心と安全を守り、小売業者にできる製品安全対策で社会に貢献したいと考えております。

受賞ポイント

1

“お客様目線”を踏まえた自社の品質基準を策定

長年のお客様からの苦情対応を踏まえ、お客様目線の品質基準を策定し、カタログ掲載前の製品すべての品質をチェックして、基準に適合した製品を販売している。

ダイワ品質基準と活用



2

回収率100%を目指したリコール対応を徹底

リコール発生時、リコール製品の購入者に対してダイレクトメールの送付や電話連絡により、リコール情報を提供するとともに、農協と連携して購入者宅を訪問して説明を行うなど、回収率100%を目指したリコール対応を徹底している。

3

安全に使用してもらうためのきめ細かい情報を提供

販売した商品毎にお手入れ方法や使用上の注意事項を記載した「アフターサービス便り」を作成し、購入者に送付している。また、誤使用を招きやすい製品などは、別途取扱説明書や注意喚起文書を作成している。

担当者のことば

製品の安心と安全は、業種や規模に関係なく、企業の果たすべき責任であると考えます。しかしながら、安心で安全な品質管理活動は、コストが発生することが多いことから、後回しにされ易くクローズアップされ難いものであると聞きます。弊社は、お客様の安心と安全を形に変えることを何よりも重要視してきました。時には、お客様のために、採算性を無視した決断をすることも多くあります。本制度の存在により、弊社の企業理念を客観的に評価していただくことができました。この度の受賞が、全社員のモチベーションを高めたことは言うまでもありません。また、品質管理の責任者である私にとっては、審査員の方からいただいた具体的なアドバイスが、今後の励みとなっています。





特別賞

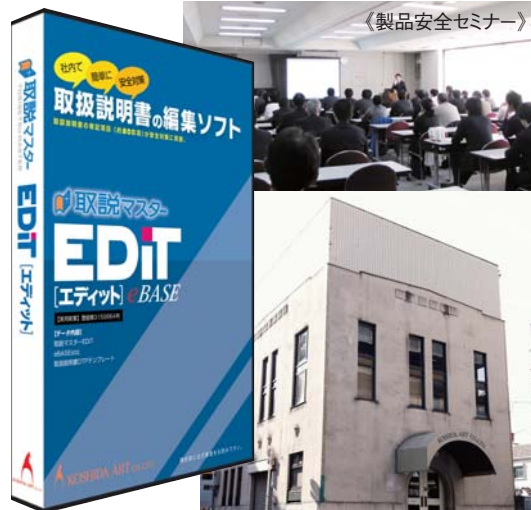
株式会社コシダアート

<http://www.koshida-art.co.jp/>



KOSHIDA ART CO.,LTD.

- 事業内容：プロダクトデザイン、パッケージデザイン、取扱説明書等の様々なデザイン制作
- 所在地：大阪府大阪市 ■設立：1973年 ■代表者：代表取締役 越田 英喜
- 従業員数：4名[2013年9月現在]



《取扱説明書の制作＆標準化システム》

受賞コメント

コシダアートは設立から数えますと40年のデザイン会社です。「企業或いは組織活動から派生するデザイン上のコンサルテーションを行う」ことをデザインポリシーとし、時代の遷移とともに希求されるデザイン活動とその役割を全うしてまいりました。今回、受賞ポイントとして評価していただいた「製品安全デザイン」という手法は、企業の製品安全対策とデザインを組み合わせ、企業や商品ブランドの価値を構築する新たなデザインメソッドです。具体例として、①製造事業者のセーフティコミュニケーション構築や、②製品安全への取組指導と組織体制マネジメント、③製品リコール後のブランド信頼回復、④事業者での社員研修セミナー、取扱説明書の検証ワークショップによる改善指導、⑤取扱説明書の制作＆標準化システム、⑥製品安全アフターシステムなどのデザイン手法があります。また、各新聞社、各工業会、各自治体、事業者などと連携して製品安全セミナーを推進しており、今後も製品安全文化の醸成と安心な社会の実現に向けたデザイン活動を続けてまいります。

受賞ポイント

1

製品安全対策とデザインを融合した戦略の提案

企業の製品安全対策とデザインを組み合わせることで、企業や製品ブランドの新たな付加価値の構築を目指し、製品のデザインレビュー時のリスク評価やパッケージ、取扱説明書の基本設計などを行っている。〈製品安全への取組〉〈組織・体制づくり〉〈事故予防のための製品強化〉〈製品の説明責任〉などでコンサルティング・運用支援している。

製品安全デザインの概念図



copyright © 2013 Koshida-art Co., Ltd. All Rights Reserved.

KOSHIDA ART CO.,LTD

2

事業者が作成した取扱説明書の評価・検証

事業者が作成した取扱説明書等について、製品安全の観点から説明内容の過不足や「安全上の注意事項」が使用者視点で表記されているかなど、表記の適正性を評価・検証している。

3

製品リスクを検証し、指示・警告文案を作成・提供

経済産業省「消費生活用製品向けリスクアセスメントハンドブック」に基づき製品のリスクアセスメントを行い、リスクの発生を防止するための指示・警告文案を作成して、事業者に提供している。

担当者のことば



KOSHIDA-ARTは、永年にわたり様々なデザイン活動を企業様と一緒に取り組んできました。CI、グラフィック、プロダクト、Web…時代の遷移とともに希求されるデザインも多岐にわたりますが、いつの時代もその目的は、企業価値の創造と顧客満足度の向上です。その中心には必ず、製品のことを正しく理解していただくためのコミュニケーションデザインがあり、このデザイン手法を体系的に構築し、公的な機関に評価をしていただくことが本表彰制度への応募目的でした。ご評価をいただいた「製品安全デザイン」が、広く社会に貢献できましたら幸いです。本表彰制度に受賞した際には、お客様や関係者様からお祝いの言葉をいただき、また、同じく本表彰制度で受賞された企業様と情報交換の場をいただけたことは大変感謝しております。



特別賞

日本福祉用具・生活支援用具協会

<http://www.jaspa.gr.jp/>


■事業内容：業界共通基盤の整備や普及等の部会活動、福祉用具の標準化や安全性等の策定

■所在地：東京都港区 ■設立：2003年 ■代表者：会長 木村 憲司

受賞コメント

日本福祉用具・生活支援用具協会（JASPA）では、福祉用具の安全性を確保するためには、製品そのもののハード面の安全性と使い方等のソフト面の安全性を確保することが重要と考えています。そのために介護保険対象機器のJIS原案作成を優先的に取り組み、平成25年度ではばすべての品目のJIS原案作成を終了し、業界としてJISマークの取得を推進しています。また、ハード面の安全性だけでは防げないリスクについては、安全な使い方等のソフト面の安全性の確保のため、注意喚起文書の作成をはじめ、福祉用具に絞った事故情報の公表、JASPA会員からの製品安全情報・リコール情報などの製品安全情報等の発信をホームページで行うほか、福祉用具流通事業者、介護・医療従事者、福祉用具利用者を対象に福祉用具の使い方セミナーを実施しています。さらに、製品の企画から製造・販売・アフターサービスまでの「福祉用具の安全・安心品質マネジメントシステム（JASQM）」等を作成し、会員向けの講習を行っています。

受賞ポイント

1

福祉用具の規格化・基準化の推進

福祉用具のハード面の安全を確保するため、介護保険対象機器のJIS化を推進するとともに、日本、中国、韓国での福祉用具に関する試験方法の開発や共通規格の策定やISOの国内審議等、福祉用具の国際標準化に取り組んでいる。



《安全安心部会の様子》

2

安全レベルの向上を目指した業界ガイドライン等の策定

福祉用具の取扱説明書作成のガイドライン、品質に関するマネジメントシステムを策定するとともに、会員企業向けの講習会を開催して、会員企業の取組や実施体制のレベルアップに努めている。

3

幅広い福祉用具関係者に対して安全情報を提供

利用者、流通事業者、ケアマネージャー、セラピストなどを対象としたセミナーの開催、政府機関から公表される福祉用具に関する製品事故情報や企業からの製品安全情報を取りまとめホームページで発信するなど、安全情報を提供している。

担当者のことば

「福祉用具を安全安心に使い、利用者の自立促進や介護者の負担軽減につなげてもらいたい」という思いで、私たちJASPA安全安心部会のメンバーは活動しています。今回JASPAが「特別賞」を受賞するにあたり、安全安心部会の代表的活動である「業界ガイドライン」の策定と、福祉用具関係者に対しての安全情報発信が高く評価されました。安全安心部会は毎月1回東京の事務局で部会を開きますが、東北や中部、関西地区からも手弁当で部会員が駆けつけます。部会員は部会活動に参加するため自社の業務を懸命にこなし、休日に資料を作成するなど工夫しています。人事異動による中心的部会員の離脱など様々な苦労がありますが、今回の「特別賞」受賞は、そのような苦労も報われ、安全安心部会員の大きな励みとなりました。





特別賞

兵庫県電機商業組合

<http://www.hyogo-zds.or.jp/>

兵庫県電機商業組合

- 事業内容：各法令関係の周知、安全点検技術講習会の開催
- 所在地：兵庫県神戸市
- 設立：1959年 ■代表者：理事長 高畑 俊一



受賞コメント

当組合の日常事業の中で「製品安全対策」という分野に特化した内容を整理して応募しました。組織を構成する組合員への情報発信と、製品トラブルの解決システムを構築している点、消費者団体やメーカーサービス担当と、製品安全情報を交換する懇談会を定期的を実施していること等が評価され、今回の受賞に結び付きました。前年度には団体特別賞に応募しましたが、受賞にはいたりませんでした。そこで、構築途中であった、今回優れたポイントとして評価された、LED照明のトラブル予防に向けた消費者への啓発事業を推進し、再応募しました。啓発事業により、内外に多くの好影響を与える成果が出たことが、今回評価されたのではないかと思います。今後リコール製品の情報発信とその回収作業等は益々重要になると考えられます。一昨年から実施している高齢者無料点検訪問事業を通じて、高齢者の安心安全を守る訪問活動を積極的に展開し、全国連合会や他府県商組とも情報共有し、その範となるよう努力したいと思います。

受賞ポイント

1 製品安全に関する情報を消費者等に積極的に発信

県内各地の消費者団体と懇談会を定期的に開催し、家電製品の安全な使い方などの情報を提供するとともに、リコール情報をホームページや広報誌に掲載するなど、製品安全情報を積極的に発信している。



《消費者団体との懇談会の様子》

2 組合員からの情報を汲み取る窓口を組合に設置

組合に窓口を設置し、組合員からの製品トラブルや商品クレームに関する情報を汲み取り、組合がトラブルやクレームに関する調整をメーカーと行う仕組みを構築し運用している。

3 LED照明のトラブル予防に向けた消費者への啓発活動を実施

LED照明の取り付け時にトラブルが発生している状況を踏まえ、組合独自でLED照明の実証試験を行うとともに、消費者にわかり易いパンフレットなどを作成・配布し、全国電機商業組合連合会にも情報を提供している。

担当者のことば



製品安全対策優良企業表彰に応募したことにより、日常無意識で行っていた業務を、今回の応募(受賞)により、その内容を対外的にPRすることで、本組合員はもとより取引先関係、所轄官公庁の関連部署等に広くその内容をご理解いただく機会となりました。製品安全対策は成果の経過や結果が明確な評価として見えないだけに、今後この事業活動を継続することにより、上部団体や業界関連団体と連携を図り内容を一層充実発展させ、成果(製品安全対策思想や施策の普及等)を出すことにつなげていきたいと考えます。製品安全対策は、業種や業界の垣根のない共通の課題を解決して、広く情報を共有し、ともに協力して仕組みの完成を目指したいと思います。



特別賞

一般財団法人ボーケン品質評価機構

http://www.boken.or.jp/

BOKEN
 一般財団法人 ボーケン品質評価機構

■事業内容：繊維・衣料品、インテリア、台所用品等の生活用品、服飾雑貨、家具などの性能・品質試験、化学分析試験、機能性試験

■所在地：大阪府大阪市(本部)

■設立：1948年 ■代表者：理事長 堀場 勇人

受賞コメント

この度、製品安全に積極的に取り組んでいる企業として「製品安全対策優良企業表彰 特別賞」を受賞できたことは、繊維製品を中心に生活用品および化学分析などの試験業務、評価試験方法や評価基準のアドバイス、並びにボーケン展示会、ボーケンレポート、ボーケンinfoメールなどの製品安全に関する情報提供が製品の安全文化の構築に貢献してきたことを評価していただいたことであり、大変嬉しく感じております。今後も第三者試験機関としてボーケンが設立以来、長年に及ぶ繊維の品質評価で培った知識・技術をベースに、靴、バッグ、ベルト等の服飾雑貨、家具、インテリア、台所用品等の品質評価試験を中心に安全・安心な情報の提供に取り組み、国民生活における製品の安全性確保向上に努めてまいります。最後に、長年にわたりご支援、ご協力いただいた取引先の皆様に感謝申し上げます。

受賞ポイント

1 「ボーケン展示会」の開催を通じた製品安全情報の提供

衣料品・日用品の事故品の展示や事故事例、分析試験結果等を紹介する「ボーケン展示会」を日本国内および中国各地で毎年開催し、業界関係者の学びの場として幅広く活用されている。



《「ボーケン展示会」の様子》

2 公的基準にない試験・評価基準に関するアドバイスを実施

事業者や業界団体に対して、製品の開発・設計段階における製品評価や試験方法、社内・業界基準の策定に関するアドバイスを行っている。

3 調査・研究成果などの情報発信を積極的に推進

長年にわたって新素材等に関する調査・研究を実施するなど、その成果を「ボーケンレポート」や「ボーケントピック」、メールマガジン「ボーケンinfoメール」などを通じて情報を発信し、有益な安全情報の提供に努めている。

担当者のことば

試験業務等を通じて取引のある企業が製品安全対策優良企業表彰を受けられており、名誉ある受賞に微力ながら関与できていることに喜びを感じていましたが、ホームページで特別賞があることを知り、ボーケン展示会が受賞に値しないかと思い応募することにしました。ボーケン展示会は、製品の品質や安全確保に対する啓蒙活動を繊維業界中心に多くの企業に広め、消費者の安全と安心を確保してきたものと自負しております。展示資料は毎年内容を変えて作成しており、多くの職員の協力の下、相当な労力をかけています。今回受賞が決まったことで、展示会や試験業務が社会の安全・安心に貢献していることが改めて認識でき、職員がモチベーションを保ってこれらの取組を続けることができることで、活動に弾みがついたと感じています。



受賞記念イベント

2013年11月22日(金)に渋谷区文化総合センター大和田 さくらホールにて「第8回 製品安全総点検セミナー」を開催しました。その中で、「第7回 製品安全対策優良企業表彰」の表彰式を行いました。

表彰式では、磯崎経済産業大臣政務官より経済産業大臣賞受賞企業に表彰状と記念盾を授与しました。続いて寺澤商務流通保安審議官より商務流通保安審議官賞受賞企業に表彰状を授与しました。また、向殿審査委員長より特別賞受賞企業・団体に表彰状を授与しました。



磯崎政務官挨拶

日本の消費者は「安全」「安心」に対する意識が非常に高いため、製品を供給する側の事業者は、常に現状を見直して製品の安全性を確保していくことが求められています。製品の安全を確保するためには、サプライチェーン全体で取り組むことが重要であり、安全な製品の提供は、各事業者の競争力を高め、日本全体でみれば、日本製品の競争力を高めることにつながるものと考えます。

今後とも消費者、事業者、行政が一体となって、製品安全への取組を着実に推進していくことで製品安全文化がより一層発展し、安全・安心で豊かな社会が実現されていくことを心から祈念申し上げます。



向殿委員長講評

今回の審査を通じて感じたことは、「安全は、みんなで作る時代に入ってきた」ということです。製造、流通、販売といった事業者だけでなく、消費者や行政が、それぞれの役割を自覚して、安全を実現していくことが、日本のこれからの安全・安心にとって大変重要であると思います。

今回で7回目となる本表彰制度は、少しずつ定着し始めてきたと感じています。これから、さらに応募企業を増やして、日本の製品安全文化を高める大事な役割を果たしていけばと思っています。



受賞企業講演

弊社は2011年の受賞時に、独自の品質基準を作成している点を評価していただきましたが、審査委員からのアドバイスをもとに、約1年をかけて品質基準書を全面改定しました。単に製品の性能や物性だけを追求するのではなく、製品安全に関わる法令、品質管理手法についての基準を明確化しました。さらに、品質基準書は、社内やグループ会社だけでなく、守秘義務を交わした上で、主力取引先の約500社に無償で配布しています。

また、品質基準はもとより製品安全に関わる事象は、セブン&アイ・ホールディングスのグループ各社における製品安全の取組に多様性をもたせると考え、定期的に情報交換を実施しています。

私どもがつくっているのは鋤(くわ)です。製品安全の取組については、農具業界初の取組であるとか、自社の企業規模でここまで取り組む必要があるのかということを追求めてまいりました。

取引先の小売店や卸業者、ユーザーの皆さんに、弊社の製品をご理解いただき、正しく製品を使用してもらうために、様々な取組を行っています。例えば、9月8日は、9と8の語呂合わせで「鋤(くわ)の日」というものをつくり、お客様に対して点検修理や注意喚起を促す活動を実施しています。

また、業界に向けた取組として、新潟県三条市の刃物産地を中心に昨年、日本鍛冶学会を創設して、製品安全をテーマとした分科会やセミナーを積極的に開催しています。

弊社を創業時よりごひいきいただき、育てていただいたお客様や地域の皆様の高齢化を感じ、何か恩返しをしたいという思いから、介護部門を設けております。介護部門においても、『街の電器屋』の強みを生かし、日常業務である顧客訪問の中で得られる住宅事情や身体特徴といった情報を活用して、お客様に適した製品やサービスを提供しています。

また、顧客訪問の際に、行政機関が作成した製品安全に関するリーフレットなどを用いて、製品を安全に使用するためのお声掛けをしています。さらに弊社では、誤使用による事故を防止するために、お客様に実際の製品を使っていただきながら製品の正しい使い方を説明し、その場でお客様に合わせた説明書を手書きで作成して、手渡しております。



株式会社イトーヨーカ堂
QC室 衣料・住居総括マネジャー
北原 一氏



株式会社相田合同工場
代表取締役
相田 聡氏



有限会社ナルデン
家電部門 電気屋ナルデン店長
成瀬 裕之氏

応募企業アンケート結果

本年度のWEBエントリー・応募企業を対象にアンケートを実施しました。ここではアンケート結果のうち、多く寄せられた回答の一部をご紹介します。今後、応募を検討される際のご参考になさってください。

Q1. 今回応募した理由・動機をお聞かせください

- A. ●自社の製品安全対策を客観的に評価したい。
- 自社の製品安全対策を対外的にアピールしたい。
- 自社の製品安全対策のレベルを向上させたい。

Q2. 審査における資料作成等について、ご感想をお聞かせください

- A. ●自社の「製品安全」を含めた品質管理業務の棚卸、整理ができた。
- 自社の製品安全活動を見直す機会となった。審査のために取りまとめた資料は、自社のお客様に説明する際の資料として活用する予定である。
- 自社の仕組みを改めて見直すことで、改善点が明確となり、有益であった。

Q3. 受賞後の社内・社外からの反響、受賞したことによる効果等をご紹介します

- A. 【社外】
 - これまで取引のなかった企業から、共同商品開発の提案を受けた。
 - 新聞・業界誌から取材を受けた。
 - 取引企業や関連団体から受賞を高く評価された。
 - 取引先から、製品安全の取組に関する講演の依頼を受けた。
- 【社内】
 - 若手社員の製品安全に関わる姿勢が前向きになった。
 - 社内へお客様へ説明するための情報を整理するために、本表彰の内容に関する問い合わせを受けた。

過去受賞企業アンケート結果

第1回から第6回の受賞企業を対象にアンケートを実施しました。
ここではアンケート結果の一部をご紹介します。
今後、応募を検討される際のご参考になさってください。

Q1. 受賞したことによって、ビジネス上のメリットをご紹介します。

- 企業イメージおよび顧客からの信頼が向上した。
- 社員（販売員）のモチベーションアップにつながった。
- これまで取引のなかった企業・お客様と取引を開始し、売上が増加した。

Q2. 受賞したことによって、社内の体制・取組に関してのメリットをご紹介します。

- 経営層をはじめとする従業員の製品安全に対する意識が向上した。
- 製品安全の取組内容が整理でき、社員全員が「製品安全」の重要性を再認識することができた。
- 社内で取組が評価され、応募担当者が「社長賞」に輝いた。

『製品安全対策優良企業表彰ロゴマーク』活用事例のご紹介



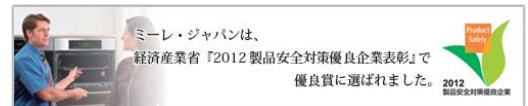
【パナホーム株式会社】
ポスター



【パナホーム株式会社】
卓上フラッグ



【株式会社ニトリホールディングス】
ポスター



【ミーレ・ジャパン株式会社】
メール署名



【ミーレ・ジャパン株式会社】
カタログ



【日進木工株式会社】
垂れ幕



【パナホーム株式会社】
ニュースリリース(ホームページ)



【日進木工株式会社】
名刺

受賞企業はロゴマークを用いて
広くPRすることができます。



2013
製品安全対策優良企業
表彰ロゴマーク



【長谷川工業株式会社】
名刺



【名和興産株式会社】
ポスター



【カリモク家具株式会社】
ポスター



【長谷川工業株式会社】
カタログ



イトーヨーカドーの「安全・安心」
取り組みが表彰されました



【株式会社イトーヨーカ堂】
ネームプレート

【過去受賞企業紹介】※企業情報は受賞時のものです。

第1回製品安全対策優良企業表彰 受賞企業

■大企業 製造事業者・輸入事業者部門

金賞 日立アプライアンス株式会社

■事業内容：総合空調および家電製品の開発・製造・販売
■所在地：東京都港区(本社)

銀賞 株式会社アシックス

■事業内容：各種スポーツ用品および各種レジャー用品の製造および販売
■所在地：兵庫県神戸市(本社)

銅賞 セイコーエプソン株式会社

■事業内容：情報関連機器、電子デバイス等の開発・製造・販売・サービス
■所在地：長野県諏訪市(本社)

■大企業 小売販売事業者部門

金賞 株式会社ビックカメラ

■事業内容：カメラ、パソコン、家電製品、スポーツ用品等の販売
■所在地：東京都豊島区(本社)

銀賞 イオン株式会社

■事業内容：総合小売業
■所在地：千葉県千葉市(本社)

■中小企業 製造事業者・輸入事業者部門

金賞 大塚製靴株式会社

■事業内容：靴の製造・販売
■所在地：東京都港区(本社)

第2回製品安全対策優良企業表彰 受賞企業

■大企業 製造事業者・輸入事業者部門

金賞 株式会社バンダイ

■事業内容：玩具、模型、食玩、生活雑貨、アパレルなどの企画、製造、販売
■所在地：東京都台東区(本社)

銀賞 富士ゼロックス株式会社

■事業内容：オフィス機器(複写機・複合機・プリンター等)およびサービス・ソリューション商品の開発、生産、販売 ■所在地：東京都港区(本社)

銅賞 三菱電機株式会社

■事業内容：エレクトロニクス・エネルギー・宇宙・通信・家電・半導体など、電気機器の開発、製造、販売 ■所在地：東京都千代田区(本社)

特別賞 IDEC 株式会社

■事業内容：制御機器製品、制御装置およびFAシステム製品、制御用周辺機器製品、防爆・防災関連機器製品、その他の電気機械器具の製造、販売 ■所在地：大阪府大阪市(本社)

■大企業 小売販売事業者部門

金賞 上新電機株式会社

■事業内容：家電製品、情報通信機器、エンターテインメント商品および住宅設備機器の販売、配送、据付・修理および保守業務 ■所在地：大阪府大阪市(本社)

銀賞 株式会社ニトリ

■事業内容：家具・インテリア・ホームファニシング商品の企画販売、新築住宅のコーディネート、海外直輸入品・海外開発商品の販売、広告・宣伝事業 ■所在地：北海道札幌市(本社) 東京都北区(本部)

■中小企業 製造事業者・輸入事業者部門

銀賞 株式会社ハート

■事業内容：オーガニック繊維製品(布団、タオル、肌着)などの企画、販売
■所在地：高知県高知市(本社) 東京都千代田区(東京事務所)

銅賞 日本宅配システム株式會社

■事業内容：宅配ボックスの製造、販売、管理
■所在地：愛知県名古屋市(本社)

第3回製品安全対策優良企業表彰 受賞企業

■大企業 製造事業者・輸入事業者部門

経済産業大臣賞 東芝テック株式会社

■事業内容：ドキュメントシステム(複合機、ファクシミリ)およびリテールソリューション(POS、レジスター)製品の開発、生産、販売 ■所在地：東京都品川区(本社)

商務流通審議官賞 株式会社アシックス

■事業内容：各種スポーツ用品および各種レジャー用品の製造および販売
■所在地：兵庫県神戸市(本社)

商務流通審議官賞 ソニー株式会社

■事業内容：オーディオ、ビデオ、テレビ、コンピュータ、情報通信関連機器、半導体、記録メディアなどの研究、開発ならびに販売 ■所在地：東京都港区(本社)

優良賞 株式会社クレハ

■事業内容：機能製品(炭素繊維、機能樹脂)、化学製品(農薬、医薬品)、樹脂製品(家庭用ラップ)の製造、販売 ■所在地：東京都中央区(本社)

■大企業 小売販売事業者部門

経済産業大臣賞 株式会社エディオン

■事業内容：家電、情報通信機器等の販売
■所在地：大阪府大阪市(本社)

優良賞 株式会社良品計画

■事業内容：「無印良品」を中心とした専門店事業の運営、商品企画、開発、製造、卸しおよび販売
■所在地：東京都豊島区(本社)

■中小企業 製造事業者・輸入事業者部門

経済産業大臣賞 フットマーク株式会社

■事業内容：介護用品／ヘルスケア用品・用具・生産用品、スミシング用品・用具／プール備品・遊具、心身教育ウェアの企画、製造、販売 ■所在地：東京都墨田区(本社)

商務流通審議官賞 株式会社アベックス

■事業内容：輸入・国内商品の企画開発、ソーシングマーケティング、販売プロデュース業務
■所在地：群馬県高崎市(本社)

優良賞 有限会社坂本石灰工業所

■事業内容：食品乾燥剤、工業用石灰、農業用石灰など石灰製品の製造、販売
■所在地：熊本県玉名市(本社)

優良賞 日本フィルム株式会社

■事業内容：各種ポリエチレンフィルム(自治体指定ごみ袋、水切りポリ袋等)製造、販売
■所在地：大分県大分市(本社)

■中小企業 小売販売事業者部門

経済産業大臣賞 株式会社ヤマグチ(でんかのヤマグチ)

■事業内容：家庭用電化製品、OA機器、住宅設備機器等の販売、設計、施工
■所在地：東京都町田市

商務流通審議官賞 株式会社タケシゲ(サウンドサカタ)

■事業内容：家庭用電化製品販売・修理・設置、PC関連セットアップ、白物家電製品販売・取付工事 ■所在地：東京都練馬区

商務流通審議官賞 有限会社永谷テレビサービス(ライフページ・ナガタニ)

■事業内容：家庭用電化製品販売・修理・設置
■所在地：山口県宇部市

優良賞 株式会社ダイプロ

■事業内容：ガス(プロパン・ブタン)、ガス器具類、日用品、住宅設備機器の卸売販売、建設工事(リフォーム中心) ■所在地：大分県大分市

優良賞 株式会社パナ・トップ

■事業内容：テレビ、冷蔵庫、エアコン等家庭用電化製品の販売、修理
■所在地：新潟県新潟市

第4回製品安全対策優良企業表彰 受賞企業

■大企業 製造事業者・輸入事業者部門

経済産業大臣賞 YKK AP株式会社

■事業内容：住宅建材、ビル建材、その他アルミ材等の設計、製造、施工および販売
■所在地：東京都千代田区(本社)

商務流通審議官賞 株式会社INAX

■事業内容：タイル・建材、住宅設備機器、事業開発
■所在地：愛知県常滑市(本社)

■大企業 小売販売事業者部門

経済産業大臣賞 上新電機株式会社

■事業内容：家電製品、情報通信機器、エンターテインメント商品、住宅設備機器等の販売と附帯事業
■所在地：大阪府大阪市(本社)

商務流通審議官賞 株式会社ニッセン

■事業内容：婦人服を中心とした衣料品、インテリア雑貨、和装品などのインターネット・カタログ通信販売 ■所在地：京都府京都市(本社)

商務流通審議官賞 株式会社ベネッセコーポレーション

■事業内容：教育、出版、通信販売事業等
■所在地：岡山県岡山市(本社)

■団体部門 団体特別賞 あんしん高度化ガス機器普及開発研究会

■事業内容：ガス機器の安全性の研究・検討
■研究会メンバー：日本ガス体エネルギー普及促進協議会、ガス機器メーカー、(財)日本ガス機器検査協会、キッチン・バス工業会、(社)日本厨房工業会、日本製パン製業機械工業会、ガス警報器工業会、消費者代表者

■中小企業 製造事業者・輸入事業者部門

経済産業大臣賞 株式会社相田合同工場

■事業内容：農具、鋏類、鍛造諸刃物の製造および販売
■所在地：新潟県三条市

商務流通審議官賞 エビス株式会社

■事業内容：歯ブラシ日用品、プラスチック家庭用品の製造および販売
■所在地：奈良県大和郡山市

■中小企業 小売販売事業者部門

経済産業大臣賞 奈良日化サービス株式会社

■事業内容：住宅機器の販売、施工、修理・サービス
■所在地：奈良県大和郡山市(本社)

商務流通審議官賞 有限会社池田電気

■事業内容：家庭用電化製品販売・修理・設置
■所在地：愛知県尾張旭市

商務流通審議官賞 有限会社ナルデン

■事業内容：家庭用電化製品販売・修理・設置、オール電化、太陽光発電、リフォーム全般、介護用品・福祉用具の販売・レンタル ■所在地：和歌山県和歌山市

第5回製品安全対策優良企業表彰 受賞企業

■大企業 製造事業者・輸入事業者部門

経済産業大臣賞 レノボ・ジャパン株式会社

■事業内容：パーソナルコンピュータ、サーバー、ワークステーションおよび周辺機器の製造、販売
■所在地：東京都港区(本社)

商務流通審議官賞 ソニー株式会社 コンシューマプロダクツ&サービスグループ VAIO&Mobile 事業本部

■事業内容：パソコン、タブレット、ポータブルオーディオ、ポータブルナビ、電子書籍の設計、企画、マーケティング等 ■所在地：長野県安曇野市

商務流通審議官賞 TOTO株式会社

■事業内容：住宅設備機器、新領域事業商品(環境建材、セラミック製品)の開発・製造
■所在地：福岡県北九州市(本社)

■大企業 小売販売事業者部門

経済産業大臣賞 株式会社イトーヨーカ堂

■事業内容：総合スーパー(GMS)・住居品・衣料品・食料品小売販売
■所在地：東京都千代田区(本社)

商務流通審議官賞 株式会社ニトリホールディングス

■事業内容：家具・インテリア用品の販売チェーン、トータルコーディネート販売、海外製造開発輸入推進 ■所在地：東京都北区(本部)

商務流通審議官賞 株式会社ビックカメラ

■事業内容：カメラ、パソコン、家電製品、スポーツ用品等の販売
■所在地：東京都豊島区(本社)

■中小企業 製造事業者・輸入事業者部門

経済産業大臣賞 アキュフェーズ株式会社

■事業内容：高級民生用音響機器、業務用音響機器の開発・製造
■所在地：神奈川県横浜市の(本社)

商務流通審議官賞 株式会社川口技研

■事業内容：住宅関連金物(レバーハンドル、物干金物)および網戸、各種化成品等の製造・販売
■所在地：埼玉県川口市(本社)

商務流通審議官賞 株式会社丸五

■事業内容：靴(安全シューズ、地下足袋、作業靴、長靴)、手袋の開発・製造
■所在地：岡山県倉敷市(本社)

優良賞 バッグワークス株式会社

■事業内容：鞆、袋物類の製造および販売
■所在地：兵庫県豊岡市

■中小企業 小売販売事業者部門

経済産業大臣賞 びーんず株式会社

■事業内容：家庭用電化製品の販売、修理、サービス全般
■所在地：兵庫県西宮市

※受賞企業情報・受賞ポイントの詳細は、下記HPまでアクセスください。
<http://www.ps-award.jp>

製品安全対策優良企業

で検索!



第6回製品安全対策優良企業表彰 受賞企業

■大企業 製造事業者・輸入事業者部門

経済産業大臣賞 株式会社バンダイ

■事業内容：玩具、模型、食玩、生活雑貨、アパレルなどの企画、製造、販売
■所在地：東京都台東区

商務流通保安審議官賞 株式会社東芝

■事業内容：デジタルプロダクツ、電子デバイス、社会インフラ、家庭電器の製造、販売
■所在地：東京都港区

商務流通保安審議官賞 トリンプ・インターナショナル・ジャパン株式会社

■事業内容：インテイメイト・アパレル（ファンデーション・ランジェリー等）、紳士下着の製造、販売
■所在地：東京都中央区

優良賞 ミーレ・ジャパン株式会社

■事業内容：家電機器（掃除機、食洗機、ランドリー機器等）および業務用機器（洗浄機、洗濯脱水機等）の輸入、販売
■所在地：東京都目黒区

■大企業 小売販売事業者部門

経済産業大臣賞 上新電機株式会社

■事業内容：家電製品、情報通信機器、エンターテインメント商品、住宅設備機器等の販売と附帯事業
■所在地：大阪府大阪市

商務流通保安審議官賞 株式会社チヨダ

■事業内容：紳士靴・婦人靴・スニーカー等の販売
■所在地：東京都杉並区

商務流通保安審議官賞 パナホーム株式会社

■事業内容：戸建住宅・賃貸集合住宅などの建築工事、リフォーム工事の請負および施工等
■所在地：大阪府豊中市

優良賞 株式会社ディノス

■事業内容：通信販売事業（カタログ・地上波・BS放送・インターネット・雑誌・新聞他）、直販事業（催事・店舗）
■所在地：東京都中野区

■中小企業 製造事業者・輸入事業者部門

経済産業大臣賞 日進木工株式会社

■事業内容：木製洋家具（ダイニング用・リビング用イス、テーブル、ボード等）の製造、販売および文化財（建具等）の復元・修復
■所在地：岐阜県高山市

商務流通保安審議官賞 カリモク家具株式会社

■事業内容：木製家具（リビング、ダイニング、ベッド、学習机・棚等）の製造、卸売
■所在地：愛知県知多郡東浦町

商務流通保安審議官賞 名和興産株式会社

■事業内容：各種ヘルメット等の開発、製造
■所在地：愛知県名古屋市中

優良賞 長谷川工業株式会社

■事業内容：総合仮設機器、家庭用作業用品、イベント機材、自動車用品、園芸用品の製造、販売
■所在地：大阪府大阪市

■中小企業 小売販売事業者部門

経済産業大臣賞 有限会社協和電気商会

■事業内容：家庭用電化製品の販売、修理、サービス全般
■所在地：千葉県四街道市

第6回受賞企業インタビュー

株式会社バンダイ

本表彰制度への応募は自社の体制を顧みると同時に、外部からの客観的なご意見をもとに製品安全対策を強化する契機となりました。受賞をきっかけとして多数の情報交換の機会をいただき、新しい考え方や手法に触れることもできました。製品安全の大きな輪に加わることで、子どもたちの安全を守るという使命を改めて胸に刻むことができました。



プロダクト保証部

上新電機株式会社

本表彰制度への応募は、製品安全対策に関わる自社の取組を、第三者の視点で客観的に見直すよい機会になります。弊社では、応募をきっかけとして各担当者の取組を全社的なマネジメントシステムとして体制整備することができました。また、審査を受けることで様々な「気づき」を得ることができ、弊社の受賞によって、製品安全に関する家電量販店の取組を消費者の皆様に理解いただけたことも大きいと思います。



CSR推進室 室長
名畑 和世氏

日進木工株式会社

本表彰の受賞後、お取引先をはじめ地域団体等への製品安全に関する研修会等に積極的に参加し自信をもって説明して信頼度を高めておりますが、審査委員の方々から厳しい貴重なコメントをいただき、受賞したことにとどまることなく、今後の製品安全対策の永遠の課題として新しい方向性を目指しております。



生産部品質管理課 課長
堀田 哲美氏

有限会社協和電気商会

この表彰制度で社内では、製品の安全に対する意識が向上し、ユーザーには家電製品において「何が安全か」「何が危険か」等、正しい使用方法を重ねて説明するようになり、また、他の商品の使用状況等を確認し、点検を行っております。取引先にも地域の皆様にも「安心安全を重視している店」として注目されるようになりました。この制度を業界内外の企業に積極的に勧めていきたいと思っています。



代表取締役
佐藤 英雄氏

製品安全対策優良企業表彰ホームページ

<http://www.ps-award.jp>



■製品安全対策優良企業表彰事務局 Tel:03-5288-6583

リサイクル適性 (A)

この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。